

令和7年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・知識で得たことを生かして思考することができるようになった。
- ・自らの学びを振り返り、粘り強く取り組む姿が見られるようになった。
- ・音楽表現するための知識や技能が高まってきた。

(2) 課題

- ・音楽表現するための知識や技能を他の題材で活用できるよう工夫していく必要がある。
- ・自分の考えを伝え合ったり言語化したりする場面を設定し、思考を深められるようにする。
- ・児童が主体的に表現できるよう、学習形態を工夫したり、学習計画を立てたりする。

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の要素について、分かりやすい言葉にしたり、身体活動を通して実感を伴わせたりして、技能を習得する。 ・復習を取り入れ、これまでの学習を想起させながら、授業展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思いや意図を言語化できるように、価値付けしていく。 ・思考が深まるよう発問やワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループなど、友達と活動することを通して、主体的に表現活動ができるようにする。 ・粘り強く取り組んでいる姿を認めたり、全体に共有したりする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学習してきたことを見える化し、様々な場面で生かせるようにする。 ・友達と教え合う場面を設定し、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の思考が明確になるよう、板書を工夫し、全体で共有する。 ・思考が広がるよう、ペアやグループでの言語活動の場を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すすんで音楽に関われるよう、教材を工夫したり、発表の場を活用したりする。 ・振り返りから、できなかったことやもっと知りたいことを明確にして、次につなげていけるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・予習や復習を取り入れ、学びを定着させる。 ・実感を伴った学習活動を繰り返し行い、価値付けることで、さらに技能を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを整理できるよう思考ツールを活用する。 ・思考したことが言語化できるよう発問やワークシートを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深く学べるような課題を工夫し、グループで協働して解決できるようにする。 ・習得と探究サイクルで学びが深まるよう学習計画を立てる。